科目番号	59023	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	国際看護学・国際感染症看護学 （Global Health Nursing / Infection Prevention and Control in Nursing）					1 配当セメスター 通年

担当者	○渡邊　香　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 近年、新型コロナウイルス感染症などの健康危機により、グローバルヘルスにおいて多様な課題が顕在化している。本科目では、グローバルヘルスにおける様々な課題を整理し、英語論文クリティークや抄読会等を通じて臨床現場で「つかえる」エビデンスを探求的に学ぶ。 【目標】 1. 専門家との議論を通じて、国際看護学・国際感染症看護における動向や課題を述べることができる。 2. 国際看護学・国際感染症看護の対象とする健康課題やニーズを説明できる。 3. 英語論文のクリティークを適切に実施することができる。 4. 国際看護学・国際感染症看護学を向上させるための具体的方策について述べることができる。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	・ 国際看護学・国際感染症看護における潮流	渡邊 他１名
第２回	・ 国際看護学・国際感染症看護における現状と課題	
第３～４回	・ 英語論文クリティーク	
第５～１５回	・ 抄読会 ①英語論文の抄読 ②学生のプレゼンテーション ③ディスカッション	
事前・事後学習	事前学習：国際看護学・国際感染症看護について、現在起きている課題を調べておくこと 事後学習：授業で取り扱った英語論文を熟読し、内容の理解を深めること 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと	
評価の方法	抄読会への参加度（プレゼンテーションの内容も含む）、課題レポートにより評価する。 フィードバックは適宜行う。	
参考図書・資料等	・ 日本国際保健医療学会. (2022). 実践グローバルヘルス：現場における実践力向上をめざして. 杏林書院. ・ WHO. (2020). State of the world's nursing 2020: investing in education, jobs and leadership. https://www.who.int/publications/i/item/9789240003279 (2024 年3月３１日アクセス可能) ・ 木原正博, 木原雅子（翻訳）. (2017). グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向, メディカルサイエンスインターナショナル.	
備　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。	